

環境調査結果のお知らせ

平成29年6月27日8時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は23.4~24.2℃で、前回調査時(H29.5.22)と比較して表層及び1m層で0.4~0.8℃下降し、2m層から底層で1.5~1.9℃上昇していました。

塩分は9.5~31.6で、前回調査時と比較して全層で1.9~16.0低下していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は4.3~10.3mg/lで、前回調査時と比較して全層で1.3~5.6mg/l減少していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.0mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なプランクトンは確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.5.22)	
			差(今回-前回)
0m	23.4	24.2	▲ 0.8
1m	23.6	24.0	▲ 0.4
2m	24.2	22.7	1.5
B-1	24.2	22.3	1.9

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.5.22)	
			差(今回-前回)
0m	9.5	25.5	▲ 16.0
1m	19.2	27.1	▲ 7.9
2m	30.3	32.2	▲ 1.9
B-1	31.6	33.5	▲ 1.9

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.5.22)	
			差(今回-前回)
0m	10.3	11.6	▲ 1.3
1m	6.1	11.7	▲ 5.6
2m	4.5	8.0	▲ 3.5
B-1	4.3	6.5	▲ 2.2



調査地点



表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	4.2	3.6
透明度	2.0	1.9

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロロセントラム・トリエステナム	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	0	2	41,800
1	0	0	0	1	27,500
2	0	0	0	1	18,300

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

麻痺性貝毒原因種 単位 cells/ml換算

水深(m)	ギムノディニウム・カテナータム	アレキサンドリウム属 (有毒種)
0	0.000	0.000
1	0.000	0.000
2	0.000	0.000

下痢性貝毒原因種 単位 cells/ml換算

水深(m)	ディノフィシス・アキュミナータ	ディノフィシス・フォルティ	ディノフィシス・コウダータ	ディノフィシス・ロツンダータ
0	0.000	0.000	0.000	0.000
1	0.000	0.000	0.000	0.000
2	0.000	0.000	0.000	0.000

貝毒原因種は確認されませんでした。